

## 「適性試験点数等調書」の記入上の注意

### ① 適性試験の成績

「法科大学院全国統一適性試験」のスコア（総合得点）を記入してください。  
本大学院に出願するためには、今年実施の「法科大学院全国統一適性試験」を受験していなければなりません。  
「成績証明カード」は、開封しないまま「適性試験点数等調書」にクリップ止めのうえ、提出してください（「第4部 表現力を測る問題の解答用紙（写）」を添付する必要はありません。）。

### ② 学部の成績

学部の「成績証明書」又は「学位授与に係る証明書」を提出してください。  
(注) 学部の成績は記入する必要はありません（記入欄はありません。）。

### ③ 顕著な語学資格等

例えば、以下のような資格が該当します。なお、出願者が国籍を有する国の言語に係るものは除きます。

TOEFL[TOEFL-ITPを除く]600点(PBT), 100点(iBT)以上 【2年以内に限る】  
TOEIC[TOEIC-IPを除く]860点以上 【2年以内に限る】  
実用英語技能検定試験 1級  
ケンブリッジ英検CPE  
IELTS(International English Language Testing System)7.5以上 【2年以内に限る】  
国際連合公用語英語検定試験A級又は特A級  
ドイツ語技能検定試験 1級  
ドイツ語上級統一試験(ZOP)  
実用フランス語技能検定試験 1級  
パリ商工会議所TEFレベル6  
スペイン語技能検定 1級  
スペイン語検定試験 DELE(Diplomas de Espanol como Lengua Extranjera)上級

### ④ 資格等

国家資格・各種試験（特に高く評価される資格としては、例えば、公認会計士、弁理士、司法書士、医師、技術士などが挙げられます、評価される資格はこれらに限られません。）、学位（修士以上の学位を有する場合には記入してください。なお、学位記のコピー又は修了証明書を添付してください。）、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等、自らの学修の成果を示すものを、「資格等」として記入することが認められます。

ただし、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等、法律に関する学修の成果を示すものは、法学既修者コースの入学者選抜においてのみ考慮されます。

## 適性試験点数等調書

受験番号	※
------	---

### ① 適性試験の成績

「法科大学院全国統一適性試験」のスコア（総合得点）

--

### ② 学部の成績

※
---

### ③ 顕著な語学資格（1つに限る。）

平成 年 月	
--------	--

※
---

### ④ 資格等〔主要なものを5つ以内（修士以上の学位は記入してください。）〕

年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

※
---

## ⑤ 志願者の社会人経験と本学で学び、そして法曹となろうとすることとの関係

(300字以内)

A square frame containing a stylized 'X' symbol made of dots. The 'X' is formed by four dots at the corners and two dots in the center, with lines connecting the corner dots to the center dots.

注1：①～④のそれぞれの記載事実を証明する書類等（原則としてコピー可。ただし、①・②の証明書類は原本に限る。）を必ず添付してください。

これらの書類等が添付されていない場合には、当該記載は評価の対象になりません。

なお、①の記載事実を証明する書類「成績証明カード」は、開封しないまま「適性試験点数等調書」にクリップで止めた上、提出してください。（「第4部 表現力を測る問題の解答用紙（写）」を添付する必要はありません。）

注2：※印欄は記入しないでください。

以上のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

### 署名